

神経電気生理検査

手根管症候群や肘部管症候群などは、積極的に末梢神経障害の検査として神経伝導速度の検査を行っています。また、サーモグラフィーや経頭蓋磁気刺激法による運動誘発電位検査（MEP）も行っており、さまざまな検査を組み合わせることで病気の原因を明らかにすることに努めています。



誘発電位検査装置：ニューロパック S1（左）と経頭蓋磁気刺激装置（右）